



最初にお読みください

TenQ **AT-TQ2403** リリースノート

この度は、AT-TQ2403をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用の前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.1.2

2 本バージョンで追加された項目


ファームウェアバージョン **2.1.0** から **2.1.2** へのバージョンアップにおいて、以下の項目が追加されました。

検疫ソリューション、Windows Server 2008 の NAP（ネットワークアクセス保護）、シマンテック社の NAC（Network Access Control）に対応しました。

3 本バージョンで仕様変更された機能

ファームウェアバージョン **2.1.0** から **2.1.2** へのバージョンアップにおいて、以下の仕様変更が行われました。

3.1 TEST LED

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「お使いになる前に」](#) / [「各部の名称と働き」](#)

起動処理中に TEST LED が点灯するようにしました。起動が完了すると消灯します。

3.2 オンラインヘルプ

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「設定の手順」](#) / [「オンラインヘルプ」](#)

V.2.1.2 の仕様変更にあわせて、オンラインヘルプを更新しました。

3.3 管理ユーザーのパスワード

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「基本設定」](#)

管理ユーザー (manager) のパスワードとして、下記を除く記号と、半角英数字を使用できるようにしました。

スペース " \$: < > ' & *

3.4 無線

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「無線」](#)

「無線」画面の「送信出力」の選択値から dBm 表示を削除しました。また、オムニアンテナに関する注を削除しました。

3.5 VWN

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「VWN」](#)


「VWN」画面の「RADIUS IP」「セカンダリー RADIUS IP」にブロードキャストやマルチキャストの IP アドレスを入力できないようにしました。

3.6 WDS

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「WDS」](#)


- 「WDS」画面の「リモートアドレス」で MAC アドレスの書式を確認するようにしました。
- 「WDS」画面の「暗号化」で「WPA (PSK)」を選択したときに表示される「SSID」「キー」に ASCII 文字コードの 0x20 ~ 0x7e、すなわち半角英数字、スペース、「! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | } ~」が入力可能となりました。

3.7 ユーザー管理

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ユーザー管理」](#)


- 「ユーザー管理」画面でユーザーの追加や編集を行う際、「リアルネーム」を空白にすると、「ユーザー名」に入力した文字列が自動入力されるようになりました。
- 「ユーザー管理」画面の「リアルネーム」に「<>'&」を入力できないようにしました。

3.8 セキュリティー

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「セキュリティ」](#)


RADIUS アカウンティングにクラス属性を含むようにしました (NAP が参照)。

3.9 イベント

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ステータス」](#) / [「イベント」](#)

syslog の Device boot up メッセージにファームウェアバージョンを追加しました。

3.10 SNMP

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「SNMP」](#)

「SNMP」画面の「Read Only のコミュニティ名」「Read/Write のコミュニティ名」に入力可能な文字種を半角英数字のみに制限しました。

3.11 Ping

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「Ping」](#)

「Ping」画面の「宛先」に無効な IP アドレス (例: 300.168.1.1) を入力すると、エラーメッセージを表示するようにしました。

3.12 設定の初期化

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「設定」](#)

「設定」画面の「初期化」ボタンをクリックしたとき、確認のダイアログボックスを表示するようにしました。

4 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 2.1.0 から 2.1.2 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 4.1 管理者ユーザー (manager) のパスワードとして 8 文字を超える文字列の入力を許していましたが (9 文字目以降は無視)、9 文字以降は入力できないように修正しました。V.2.1.0 以前のファームウェアを搭載した本製品の管理ユーザーのパスワードとして、9 文字以上の文字列が設定されている場合、V.2.1.2 以上にアップグレードした後は、アップグレード前に設定されていたパスワードの 8 文字目までを入力してください。
- 4.2 ダイナミック VLAN を使用して、管理 VLAN ID を無線クライアントに割り当てると、無線クライアントの切断後に、Web 設定画面にアクセスできなくなりましたが、これを修正しました。
- 4.3 DHCP サーバーからの IP アドレスの取得に失敗することがありましたが、これを修正しました。
- 4.4 ダブルクォート " " を含むネットワーク名 (SSID) が使用できるように修正しました。
- 4.5 IEEE 802.11a を W53 のチャンネル (52、56、60、64) に設定するとチャンネル選択を繰り返し、通信を開始しないことがありましたが、これを修正しました。
- 4.6 WDS を使用するように設定しているとき、本製品と無線クライアントの通信に IEEE 802.11a (無線 1) の W53 のチャンネル (52、56、60、64) または Auto を選択すると、WDS 間の通信ができなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 4.7 「隣接アクセスポイント」画面および「不正 AP トラップ」画面の「アクセスポイントの検出」を有効にすると、送信電力レベルが一定周期で乱れることがありましたが、これを修正しました。
- 4.8 半角英数字のみをサポートするユーザー名に、半角英数字 (アルファベットと数字) 以外の文字を入力することができましたが、できないよう修正しました。これに伴い、ユーザー名に半角英数字以外の文字が含まれたままでアップグレードすると、そのユーザー名は「ユーザー管理」画面のユーザーアカウントのリストに表示されなくなり、そのアカウントを使用した本製品への無線接続ができなくなります。V.2.1.0 以前のファームウェアを搭載した本製品で、ユーザー名に半角英数字以外が使用されている場合、そのユーザー名を半角英数字のみに変更してから、V.2.1.2 以上にアップグレードしてくださいませよう願いたします。
- 4.9 SNMPv3 における認証回避の脆弱性 (VU#878044) を修正しました。

- 4.10 各 Web 設定画面の「適用」ボタンをクリックした後は、画面が再描画されるまで、Web 設定画面の操作を行うと、Web 設定画面にアクセスできなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 4.11 「無線」画面の「ビーコン間隔」「DTIM 間隔」「パケット分割しきい値」、「ブロードキャスト / マルチキャスト速度制限」の「速度制限」や「パースト時の速度制限」に無効な値や、非数字を含む文字列を入力したときに表示されるメッセージを適切なものに修正しました。
- 4.12 「SNMP」画面の「SNMP リスニングポート番号」に「0」を設定すると、画面下にエラーが表示されていましたが、これを修正しました。

5 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン **2.1.2** には、以下の制限事項があります。


5.1 本製品のご使用にあたって

- 本製品の Web 設定には、必ず Microsoft Internet Explorer Version 6 または 7 をご使用ください。
- 本製品の起動中は、ネットワークの使用をお控えください。本製品がトラフィックを受信している場合、起動しないことがあります。

5.2 ローミング

ローミングが発生して無線クライアントが他のアクセスポイントに接続した後、再度ローミングが発生してその無線クライアントが元のアクセスポイントに再接続すると、その無線クライアントは最初にローミングしたアクセスポイントに接続している他の無線クライアントとの通信ができなくなります。

5.3 イーサネット設定

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「イーサネット設定」](#)

「イーサネット設定」画面の「無線 LAN からの本体宛アクセスを限定」を「有効」にしても、無線クライアントからの SNMP SET が可能です。「SNMP」画面の「SNMP リクエストの送信元を制限」を有効にし、不特定の無線クライアントからの SET を回避してください。

5.4 無線

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「無線」](#)


「無線」画面で「無線」を「2」、「ステータス」を「オフ」にして電源を入れ直すと、Web 設定画面でチャンネルが正しく表示されません。

5.5 VWN

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「VWN」](#)


- 「VWN」画面で各々のVWNを有効にし、いったん無効にしてから再度有効にすると、VWNの設定のうち、VLAN IDの設定だけが削除されます。SSIDやセキュリティなどの設定は残ります。
- 「VWN」画面の「セキュリティ」で「スタティックWEP」を選択した場合、認証方式の選択ができません。実際には「オープンシステム」認証が行われます。
- 有効なVWNの数が増えると、MACフィルタリングの設定が、すぐに反映されないことがあります。VWNとMACフィルタリングを併用する場合は、MACフィルタリングの設定後に本製品を再起動してください。

5.6 WDS

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「WDS」](#)

WDSの「暗号化」で「WPA (PSK)」を使用する場合、「セキュリティ」画面の「WPA パーソナル」または「WPA エンタープライズ」の「暗号スイート」のチェックボックスの設定（チェックの組み合わせ）は、WDSで接続するもの同士、完全に同一となるようにしてください。設定が異なっていると、WDS接続ができません。

5.7 クラスタ

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「クラスタ」](#) / [「アクセスポイント」](#)

クラスタを開始すると、「設定」画面の「初期化」ボタンが機能しないことがあります。その場合は、再度「設定」画面の「初期化」ボタンをクリックするか、本製品背面のリセットボタンを5秒間押し続けてください。

5.8 送信 / 受信

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ステータス」](#) / [「送信 / 受信」](#)

- 「送信 / 受信」画面で表示されるスループットの値が正しくありません。
- フレームサイズが1544バイトを超えるパケットは、正常にカウントすることができません。

5.9 SNMP

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「SNMP」](#)

- トラップ送信先の「ホスト名」にIPアドレスが入力されていると、「SNMP」を「無効」にできません。「SNMP」を「無効」にする場合は、「ホスト名」の内容を削除してください。
- 本製品を起動してから長時間（8日間程度）経過すると、MIB-IIのsystem.sysUpTimeの値が正しくなくなることがあります。Web設定画面では正しい値を表示します。

5.10 ご購入時設定への初期化について

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「設定」](#)


- 「設定」画面の「ご購入時設定への初期化 ...」によって再起動した場合は、鍵ペア生成のために数分（最長 10 分程度）かかることがあります。再起動が完了するまで、電源を切らないでください。
- 「設定」画面でご購入時設定への初期化を実行後、「負荷分散」画面の値が「Undefined」となり、画面下にはエラーメッセージが表示されることがあります。

5.11 設定のリストアとバックアップ

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「設定」](#)

「設定」画面の「設定のリストア ...」で空ファイルを指定すると画面下にエラーが表示されません。

5.12 ファームウェアのアップグレード/ダウングレード

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「アップグレード」](#)

- ルーター経由でファームウェア更新を行うと、動作状況を把握できなくなる場合がありますが、約 4 分後にはファームウェアが更新され正常に起動します。設定を続ける場合は、再度本製品の Web 設定画面に接続してください。
- ファームウェアのアップグレードやダウングレードにおいて、ファームウェアファイル転送中に、UTP ケーブルが抜けるなどの外的要因によりタイムアウトが発生すると、再度 UTP ケーブルを接続しても Web 設定画面にアクセスできなくなります。その場合は、電源のオフ、オンによる再起動を行ってください。本製品は、ダウンロード開始前の状態に戻ります。

6 ユーザーマニュアルの補足

同梱の CD-ROM に収録されているユーザーマニュアル (613-001037 Rev.A) の補足事項です。

6.1 入力文字列について

本製品の Web 設定画面では、文字列の入力に ASCII 文字コードのみを使用できます。また、項目によっては入力できない文字が存在します。詳しくは、ユーザーマニュアルを参照してください。

6.2 無線

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「無線」](#)


「無線」画面で「無線 1」または「無線 2」のどちらか一方の「ステータス」を変更すると、もう一方の無線も一時的にリンクダウンします。

6.3 VWN について

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「詳細設定」](#) / [「VWN」](#)

- VWN 機能を有効にすると、クラスター機能が動作しないことがあります。VWN 機能とクラスター機能を併用する場合は、「イーサネット設定」画面の「内部ネットワークインターフェースの設定」の「VLAN ID」と「管理 VLAN ID」に同じ値を設定してください。
- 有効な VWN の数が増えると、本製品の CPU の負荷が高くなりスループットが低下します。有効にする VWN の数は、5 個までにすることをお勧めします。

6.4 ユーザー管理

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「ユーザー管理」](#)

ASCII 以外の文字コードを含むユーザー情報は編集できません。

6.5 SNMP

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「SNMP」](#)

- Link UP/DOWN トラップは、無線接続された SNMP マネージャーには送信されません。
- 10BASE-T/100BASE-TX ポートの Link UP/DOWN トラップは生成されません。

6.6 Ping

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「Ping」](#)


ローカルループバックアドレス（127.0.0.1）やマルチキャストアドレスなどの予約済みの IP アドレスに対して、PING を実行することができます。

6.7 NTP

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「オプション設定」](#) / [「NTP」](#)

本製品で表示される時間は、NTP サーバーより最大 20 秒遅れます。

6.8 設定のリストアとバックアップ

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「設定」](#)

バックアップした設定ファイルを本製品にリストアし、再度バックアップすると、異なったサイズの設定ファイルが生成されます。

6.9 ファームウェアのアップグレード/ダウングレード

 [「ユーザーマニュアル」](#) / [「本製品の設定」](#) / [「保守管理」](#) / [「アップグレード」](#)

- 専用書き換えプログラムで、V.1.1.2 → V.2.1.2 のアップグレードを行うと、SNMP マネージャーで SET されていた項目（ロケーションなど）がリセットされます。

- V.2.1.0 で作成された設定のバックアップファイルを、V.1.1.2の本製品にリストアした後、TQ Firm Upgrader.exe を実行すると途中で初期化され、バージョンアップに失敗します。


7 ファームウェアのアップグレードとダウングレード

重要：アップグレードやダウングレード中は、本製品の無線機能が停止します。アップグレードやダウングレードは、必ず有線 LAN ポートに接続したコンピューターから実行してください。

また、アップグレードやダウングレード中は、本製品の Web 設定画面へのアクセスや、有線 LAN ポートへのトラフィック流入をできるだけ避けてください。アップグレードやダウングレードに失敗するだけでなく、本製品が起動できなくなる可能性があります。


7.1 V.2.1.0 → V.2.1.2 アップグレード、V.2.1.2 → V.2.1.0 ダウングレードの補足

V.2.1.0 から V.2.1.2 へのアップグレード、V.2.1.2 から V.2.1.0 へのダウングレードは、本製品の Web 設定画面で行います。


 **参照** 「ユーザーマニュアル」 / 「本製品の設定」 / 「保守管理」 / 「アップグレード」

ただし、アップグレードの場合は、アップグレードを行う前に、下記の 2 点を実行してください。

1. 管理者ユーザー (manager) のパスワードとして、9 文字以上の文字列を設定している場合は、8 文字以内のパスワードに変更してください。

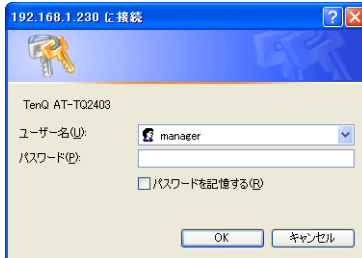
 **参照** 「リリースノート」 / 「4 本バージョンで修正された項目」 / 「4.1」

2. 「ユーザー管理」画面において、ユーザー名として半角英数字 (アルファベットと数字) 以外を使用している場合は、半角英数字のみのユーザー名に変更してください。

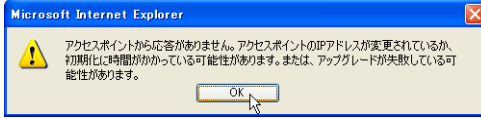
 **参照** 「リリースノート」 / 「4 本バージョンで修正された項目」 / 「4.8」

管理者ユーザーのパスワードとして、9 文字以上の文字列を設定したまま、アップグレードを行ってしまった場合、以下の手順で対応してください。

1. 「ユーザーマニュアル」 / 「本製品の設定」 / 「保守管理」 / 「アップグレード」の手順 7 の最後の段階で、パスワードを要求するダイアログボックスが表示されます。



2. そのまま、4～5分待ち、下記のエラーメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックし、メッセージボックスを閉じてください。



3. 手順1のパスワードを要求するダイアログボックスの「キャンセル」ボタンをクリックし、ダイアログボックスを閉じてください。閉じない場合は、閉じるまで「キャンセル」ボタンをクリックしてください。
4. Web ブラウザーを終了してください。
5. Web ブラウザーを起動し、本製品の設定画面にログインします。管理者ユーザー（manager）のパスワードとして、アップグレード前に設定されていたパスワードの8文字目までを入力してください。

7.2 V.1.1.2 → V.2.1.2 アップグレード、V.2.1.2 → V.1.1.2 ダウングレード

重要：専用書き換えプログラムを実行するコンピューターは、本製品と同一のネットワークに接続してください。ルーターを経由すると、専用書き換えプログラムが正常に動作しないことがあります。

本製品のファームウェアのV.1.1.2からのアップグレード、V.1.1.2へのダウングレードは下記の専用書き換えプログラムで行います。

V.1.1.2 → V.2.1.2 : TQ_Firm_Upgrader_V112_to_V212.zip

V.2.1.2 → V.1.1.2 : TQ_Firm_Downgrader_V212_to_V112.zip


プログラムは、弊社ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

アップグレードの手順は、下記のとおりです。ダウングレードでは、ファイル名を Downgrader に読み替えてください。


V.1.1.2 よりも前のバージョンからのV.2.1.2へのアップグレードは、本製品のWeb設定画面でV.1.1.2にバージョンアップした後、下記の手順を実行してください。

1. 「ユーザー管理」画面において、ユーザー名として半角英数字（アルファベットと数字）以外を使用している場合は、アップグレードを実行する前に、半角英数字のみのユーザー名に変更してください。

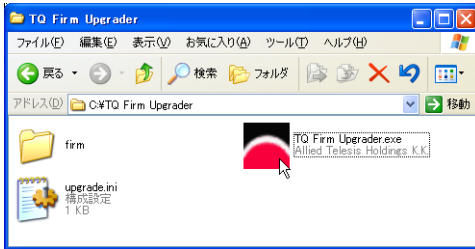
 **「リリースノート」 / 「4 本バージョンで修正された項目」 / 「4.8」**

2. 安全のために設定のバックアップを取ってください。特に、ダウングレードの場合は、設定を引き継ぐためにバックアップファイルをリストアする必要があります。

- アップグレードの場合、アップグレードを実行しようとしている本製品のクラスターを停止⁽¹⁾してください。

 「ユーザーマニュアル」 / 「本製品の設定」 / 「クラスター」 / 「アクセスポイント」 / 「クラスターの停止」

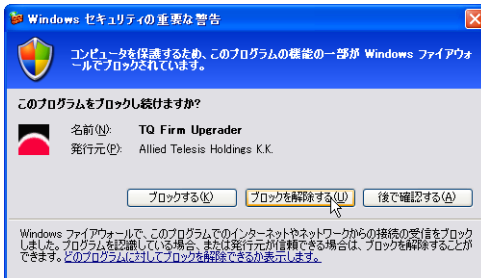
- ダウングレードの場合、「設定」画面の「初期化」ボタンをクリックし、本製品をご購入時設定にしてください。
- 専用書き換えプログラムを解凍し、「TQ Firm Upgrader.exe」をダブルクリックしてください。



- 「IP Address」にアップグレード対象となるAT-TQ2403のIPアドレスを入力し、「Password」に管理者 manager のパスワードを入力して、「OK」をクリックしてください。

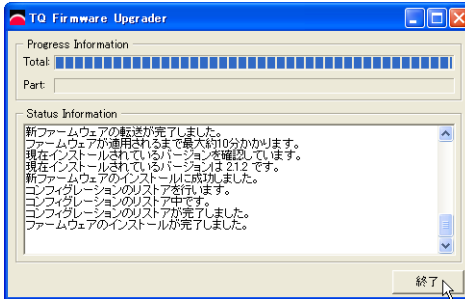


- 下記が表示される場合は、「ブロックを解除する」をクリックしてください。



(1) クラスターを停止せずにアップグレードを実行すると、クラスターに属すすべてのアクセスポイントの無線送信が停止します。無線接続サービスを完全に停止させずにアップグレードを実施したい場合は、クラスターを停止してください。クラスターを停止せずにアップグレードを実行した場合は、アップグレード終了後、クラスターに属すアクセスポイントにログインして「詳細設定」の「無線」の「ステータス」を「オン」（無線 1、2とも）に戻してください。

8. ファームウェアが適用されるまで、最大約 20 分かかります。アップグレードが完了したら、「終了」をクリックしてください。




重要：ファームウェアのアップグレードやダウングレードの実行中は、本製品の電源をオフにしたり、再起動しないでください。アップグレードやダウングレードに失敗するだけでなく、本製品が起動できなくなる可能性があります。


9. ログファイルが保存されます。
ログファイルは「IP アドレス .log」という名前を持ちます。



10. **アップグレードの場合、** V.1.1.2 のときの設定は V.2.1.2 に引き継がれます。
また、アップグレード前に管理者ユーザー（manager）のパスワードが 9 文字以上だった場合は、本製品の設定画面にログインする際に、アップグレード前に設定されていたパスワードの 8 文字目までを入力してください。

 **参照** 「リリースノート」 / 「4 本バージョンで修正された項目」 / 「4.1」

アップグレードを実行したアクセスポイント（本製品）のクラスターを開始してください。

 **参照** 「ユーザーマニュアル」 / 「本製品の設定」 / 「クラスター」 / 「アクセスポイント」 / 「クラスターの開始」

ダウングレードの場合、 V.2.1.2 のときの設定を V.1.1.2 に引き継がせる場合は、手順 2. のバックアップファイルを「保守管理 / 設定」画面でリストアしてください。

8 ユーザーマニュアルについて

最新のユーザーマニュアル（613-001037 Rev.B）は弊社ホームページに掲載されています。本リリースノートは、上記のユーザーマニュアルに対応した内容になっていますので、お手持ちのユーザーマニュアルが上記のものでない場合は、弊社ホームページで最新の情報をご覧ください。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>